偽りのカッコウ
モノクロ漫画
116p
予備役製作所

登場人物

郷田　剛

繭子の父。
繭子に結婚時の約束を守る事を要求する。

峯原　真一

郷田の命令には忠実に従う秘書。
郷田の命により繭子と会いホテルに誘う。

柏木　繭子

主婦。
柏木信人と結婚して3年になる。
結婚の条件として父剛からとんでもない約束をさせられる。

柏木　信人

郷田の会社に勤める。
義父との約束を果たそうと日々頑張る。

だから
お父さん！

私も信人さんも
頑張って
いるんですから！

期限の事は
わかってます！

もちろん
約束の事も！

ともかく
来月まで待って
下さい！

はい、
はい、

では…

フゥッ

繭子さん、お義父さん？また例の催促？
ほんとやんなっちゃう！
そうよ！まったく！
あんな時代遅れの約束をいつまでも！
でも繭子さん…
結婚の条件だったのは間違いないし…
信人さんは私と別れる事になってもいいんですか！
冗談じゃないよ！
繭子さんと別れるなんて！

私は柏木繭子。二三才の主婦です。旦那様は信人さん。
私たちは三年前に結婚しました。
私は、高校卒業後すぐに父の経営する会社に事務員として
就職しました。そこで信人さんと知り合い恋人関係になりました。

私が二十歳を迎えるのを機に信人さんは私にプロポーズして
くださり私は喜んで受け入れました

私の家、郷田家は私たちの地方都市では
かなりの資産家であり私の父、郷田剛は
幾つかの会社を経営する事業家でもあります。

そんな父は、私達の結婚には大反対。
信人さんは豪傑な父とは正反対な事が
気に入らない様子でした。

私達は必死で父を説得しました。
そして、どうにか結婚の了承を得たのですが、
父はとんでもない条件を出してきたのです。

二年以内に男の子を授かる事、もしだめなら即刻離縁

この現代でこんな古臭い事を言い出す父はとんでもない
とは思いました。

でもともかく結婚したかった私達は
父の条件を受け入れてしまったのです。

最初は、二年もすれば
大丈夫だろうと
タカをくくっていました。
もしダメでもさすがに父も
諦めるだろうと。

でも、二年どころか
もう三年もたっているのです。

あんな約束
しなきゃ良かったな…

あー
やんなっちゃう！

繭子さん…

そういえば
信人さん…

今日ね、
ちょうど
いい日なんです。

さわ

さわ

だからね。

さわ

さわ

繭子さん！

僕、
頑張るよ！

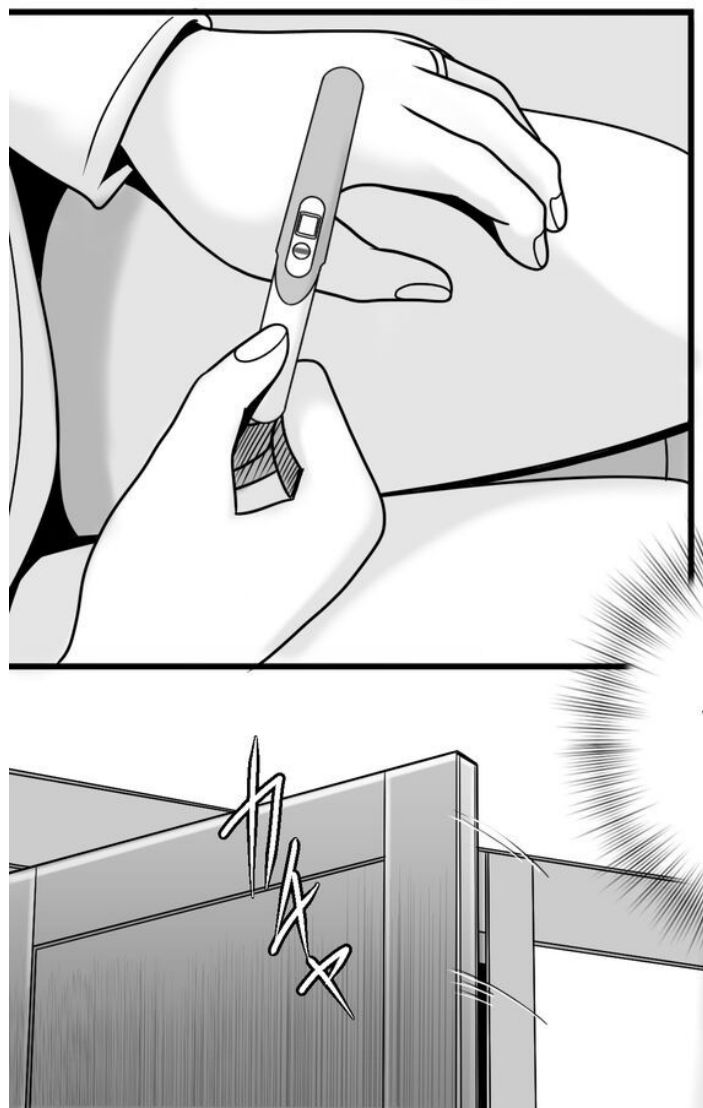
あっ！
あんっ！
ギシ
あっ
あっ
あん
ギシ
パン
パン
ギシ
ズブ
ズブ
ギシ
ああ！信人さん！
気持ちいいです！
繭子さん！繭子さん！
あっ
あん
あっ
パン
ギシ
パン

繭子さん愛してる！
信人さん私も愛してる！
んぐっ
あぁ
あぁ
あぁ
あぁ

ああ！信人さん！下さい！下さい！
ズン
ズン
んんあっ
ズン
ズン
ビュル
あっ
あぁあっ
ドビュ
ビクッ
ビクッ
ビュル
ビュル
信人さんの精子がいっぱい…
これできっと…
はぁ
はぁ

蘭子さん、これでできると良いね。
信人さん、きっと大丈夫です。
ねえ、信人さん。
念の為にもう一回…
蘭子さん…

数日後…



やっぱり、
私が変なのかな…

パタ、

お、
お父さん…

10:15
お父さん
メッセージを送信
あとで通知
拒否

は、はい…
ま、繭子です。

どうだった！

あ、あの

結局今回もダメだったんだな！

お父さん！待ってください！

約束の期間はとっくに過ぎておる！わしの我慢も限界だ！

例の約束を守ってもらうぞ！

結婚のための父との秘密の約束…

それは…

もし子供ができず信人さんと離縁したくない場合は、他の男の人に子種をもらってでも男の子を身籠る…

と言うとんでもないものでした。

後継が欲しいなら一度、信人さんにお願いしてそれからでも、と説得しましたが血の繋がらない人間に任せられないの一点張りでした。

結局このとんでもない条件を
私は受け入れてしまいました。

無論、この事は信人さんには話してません。
話せるはずもありません。

信人さんとの生活を守りたい、
何よりも父の会社で働く信人さんを守りたい、
その一心で。

良いか
繭子。
家の為にしっかり
孕むのだぞ！
では、
良い知らせを
待っておる！
信人さん…
私、
頑張るから…

しかし
繭子さんも
大変ですね。

社長も
随分と
古い考えを
お持ちで。

私は
社長には若い頃から
ずっとお世話になっていまして、

社長のお力になれるのであれば

ぜひ
協力させて
頂きたいのです。

なので
今回のことも
仕事の様な
ものです。

ギュッ

ですから
繭子さんも、
一種の
治療だとでも
思ってください。
あ、あの
峯原さんは
大丈夫なのですか？
奥様とか…
私は
大丈夫ですよ。
はははは
ずっと
天涯孤独ですので。
気を使う人など
いませんよ。
ところで
旦那様には？
もちろん
言ってません。

そうですか。その方が良いですね。
思った人と随分違った…
峯原真一さん…
優しそうではあるけれど…
結構おじさんなんだ。
私…この人と…
繭子さん
どうかお気持ちを楽にして下さい。
こういう事はその方が上手くいきます。
…

それでは
そろそろ
参りましょうか？

ガタッ

え？

どちらに？

ホテルに
決まっているじゃ
ないですか。

いやだなあ
繭子さん、

い、

今から
ですか…

善は急げですよ。

HOTEL
Cuckoo's Nest

A24
来てしまった…
ドキ ドキ
私、これから峯原さんと
セックスするんだ…
ドキ ドキ
ガチャッ

いやあ
ここの風呂は
随分と立派ですね。

後で
ご一緒に
どうですか？

き、今日は、

そういうのは…

あーいやいや

冗談ですよ！

お願い
できますかな。

！

それでは
早速…

スルッ

若い頃なら女性とこんな所に来るだけで元気になったものですが、
最近はめっきりダメでちょっと準備に手間がかかります。
！
ポロ
お嫌でしたら自分で何とかしますが…
だ、大丈夫です…私が…
男の人ってこんなに違うんだ…
さわ
さわ

こんなんで
どうでしょうか？

ああ、
良いですよ。

口の方でも
お願いします。

ああ、
繭子さん、
なかなか良いですよ。
そのまま
お願いします。
クチュ
クチュ
クチュ
クチュ
んぐっ
ムクッ
ムク
ポポ
ポポ

ビクン
ビクン
凄い！
プロ
いやあ
すみませんね。
どうも私のは
人より大きいようで
どうせならもう少し
続けてもらえますか？
パロ
パロ
レロ

ジャジャ
旦那様の仕込みが良いと見える。
蘭子さんは本当にお上手だ。
大変気持ち良いですよ。
蘭子さん、
もう良いですよ。

このままだと
お口に
出してしまいます。

それでは
意味がありません。

でも
おかげさまで

パチ
パチ

やっ

随分と
元気になりましたよ。

それでは
繭子さん、

次は
あなたの
準備をしましょう。

わ、私の
ですか…

蘭子さん、
先ほど
ご覧になった通り
私のは、
他の方より
大きいのです。
ですので
蘭子さんのも
十分にほぐさないと
いけません。
挿入時に
痛みがあると
よろしく
ありませんから。
まずは
拝見します。

あ、あの…
峯原さん

やっぱり、
ちょっと…

ジト

蘭子さん、
手をどかして
いただけませんか？

これでは
ほぐせません。

どうか
私に
おまかせ下さい。

蘭子さんも
きっと
満足しますよ。

ほう！
A24
これは、これは綺麗な花弁ですね。
清楚な繭子さんにふさわしい。
乙女のようでありながらどことなく淫靡な雰囲気もある。
これは男心をくすぐる花弁ですね。
では、花弁の中も拝見します。

思った通り花芯の方も綺麗なピンク色だ。

今日初めて会った男の人に見られちゃってる…

奥の方から甘そうな蜜が溢れてきてますよ。

恥ずかしい！

トロ

クパ

あたかも早く舐めて欲しそうですね。

あんまり見ないで下さい…

それでは蜜の味見を…
レロー
レロレロ
ピチャ
ピチャ
あっ！
チュウ
んん
あぁ

峯原さんの
舌！
気持ちいいい！
あっ！
んん！
ああっ！
まるで
別の生き物
みたい！
んあっ
あんっ
ああっ

繭子さん、良い反応ですね。
存分に気持ちよくなって下さい。
あぁあっ
レロレロ
ああ！峯原さん！
あっ
あっ
私！私！
なんか来そう！
まだ入れられてもいないのに！

あっあ
だめぇ
んあぁあっ

ひょっとして私、いった？舐められただけなのに…

んっ

んっ

まあこれで十分ほぐれたようですね。

まあ

まあ

おやおやいってしまいましたか？

繭子さんは随分と敏感なのですね。

準備は万端ですね。

おや
繭子さん…

…。

どうなさいました？

ああゆうのは
初めてなので…

ちょっと
驚いて…

ほう！
クンニで
いった事ですか？

それは
光栄ですねえ。
私のテクも
まだまだいけますねえ。

ギ

ギ

ヒクッ

ビクッ

私は、こっちの方も自信があります。
A24
期待なさって良いと思いますよ。
ああ、入れられちゃう！
最初はゆっくり入れていきます。
蘭子さん、
どうか力を抜いてください。

それではまいります。
んあっ
ズブッ
あっ
あっ
ズブ
ズブ

いやあ
繭子さん、
なかなか狭い
ですね。
もうちょっと
ですよ。
もうじき
全部
入ります。
ズブ
ズブ
あっ！
んん！
あ！
んんっ
ほら、
ようやく
奥まで到達しましたよ。
なにこれ！
お腹が
苦しい！
あぁ

蘭子さん、

どうやら少し苦しい様ですね。

その間に失礼して…

無理もありません。

しばらく動かずに馴染ませましょう。

お胸を拝見。

ほほう！

思った通り綺麗なお胸だ。

プルン

プルン

ふうん。

あ、あの…

それでは少々堪能させて頂きます。

ギュッ

あっ

マシュマロの様に柔らかくそれでいて弾力もある。

いや、素晴らしい！

んっ

んっ

こちらはどうでしょう？

んあっ

あっ

こちらも良い弾力ですね。

これは赤子も喜びます。

あっ

それでは赤子には悪いですが。

あぁっ

み、峯原さん。

どうです？だいぶ馴染んできましたか？

そろそろ動いても良いようですね。

それでは
いきますよ！
かはっ
あっ
あっ

どうでしょう？藺子さん！
気持ちいいですか？
あっ
A24
何これ！凄い！
藺子さんの中もなかなかですよ。
んん
んあっ

繭子さん、この体勢ならばより深く入ります。
それだけ子種が子宮に届きやすくなります。
良いですね。一気にいきますよ。
はぁ
はぁ
は、はい…
いかがですか？この体勢は？
気持ちも良いでしょう？

繭子さん締まり方凄いですね！
そろそろいきますよ！
しっかり子種を受け取ってください！
あっ
あっ
A24
ああ！凄い！なんか大きいの来る！
ああ！何これ！何これ！

あっ
あぁ
[redacted]

あ～
出る出る
ビュル
ビュル
ビュル
ビクッ
ビクッ
あっ
あぁっ
ビクッ
峯原さんのが
中に…
お腹が
熱い…
ビクッ
ビュル
ビュル
ビクッ
ビクッ
はぁ
はぁ
ビクッ

いやあ
繭子さんの具合が
良いもので

年甲斐もなく
頑張って
しまいました。

確率を上げるために
しばらく
このままでいましょう。

はあ
はあ

良いですね、
繭子さん。

は、
はい…

はっ
はっ

信人さん…終わりました。

それでは
お先に
失礼します。

ここの
払いは終わっています。

繭子さんは
しばらくここで
休んでいただいて
結構です。

では、
また何かありましたら
何なりと。

…。

バタン

これできっと
上手くいくよね…

信人さんと
ずっと
一緒に…

ああ、社長。

無事終わりましたよ。

でも社長、私でよろしいのですか？

私は、だいぶ前から種無しなんですよ。

馬鹿者！誰がお前なんかの血を我が一族に入れたいものか！

要は、あの男を追い出せれば良いのだ。

蘭子の本当の相手はわしが決める。

はぁ

そのためにお前は、働けば良いのだ。

次は、蘭子の家に行け！その後の手筈はわしが整える。

はい。

それでは頼んだぞ！

まったく酷い親だ…

それでは私も好きにさせて頂きます…

ダメだった…

でも
ダメで
良かったかも

これでまた
チャンスが
できた…

これから
信人さんと
頑張って！

お父さんを
見返してやる！

あっ

あん

あんあん
あっ
グチュグチュ
ギシギシ
繭子さん…
グチュグチュ
信人さん！
信人さん！
あっ
あっ
もっと突いて下さい！
パンパン
パンパン

信人さん！私の中にいっぱい下さい！
蘭子さん！出すよ！出すよ！
バチュ
バチュ
バチュ
あっ
あっ
あぁ
あっ
ビッ
ビッ
ビッ
ビュル
ビュル
ビュル
バチュ
バチュ
んんっ
んあっ

はぁ
はぁ
ビクッ
ビクッ
あれ…
ビクッ
ビクッ
ドロッ
何だかあんまり
気持ちよく
無かったな…
峯原さんと
してから
なんか物足りない
はぁ
はぁ
セックスって
こんなんだっけ…
急に
出張だなんて…
ピトッ
繭子さん
ごめん！

お義父、いや社長命令だからね。仕方ないよ。

でも、わざわざ週末になんて。

きっと嫌がらせです！

そんな事ないよ。

それだけ僕が信頼されてるってことだよ。

こんなの嫌がらせに決まってる！

でも決してそれを口にしない…

信人さんにはもっと強気でいて欲しいけど…

では行ってきます。
信人さんは優しすぎるんだわ
だからその分私が頑張らないと…
いってらっしゃい。
…。
バタン
行っちゃった…
おやすみ中頑張ろうと思ったのに…
！
ブツブツ

えっ！
お父さん！

峯原さんが
家に！

ダメだったって
どうして
知ってるの？

お父さん
03/20(火)
ダメだったそうだな。
まあ、一回では流石の峯原でも難しい様だ。
今日、峯原をそっちにいかせる。
今度こそ、しっかり孕むのだぞ！

そんな…
どうしよう…

ブルブル

いやあ、
それにしても

立派な
マンションに
お住まいだ。

まったく
羨ましい
ですな。

しかし我が社の安月給で

こんな良い所に住めるなんて旦那様は随分と頑張っておられる。

ここは父の物件ですので…

なるほど。そういうわけですか。

では旦那様もこんな良い暮らし手放したくはないですよね。

そ、そう。信人さんの会社の立場そしてこの暮らしを守るためにも、

ギュッ

私が頑張らなきゃ！

しかし残念でした。
まさかダメだとは…本当に申し訳ありません
繭子さんも緊張なさっていたとはいえ私もすっかり衰えったってとこでしょうか…
峯原さんのせいではありません。
きっと私が…
今日は精力剤なども飲んで参りました。
確率を上げるためにはやはり何回か仕込んだ方が良いですしね。
それにご自宅なら
繭子さんもリラックスできるでしょうし。
それでは早速ですが…
裸になっていただけますか？

裸って！
ここでですか？
ホテルでは暗くて蘭子さんの綺麗な体を十分に堪能できませんでした。
その結果、刺激が足りず蘭子さんにも色々とお手間をおかけしました。
ではせめて寝室の方で…
そちらも後ほどお邪魔します。
まずは私を元気づけるためにお願いできますか？
で、でも…
こんな明るい所で…
どうしよう…こんな明るい所で裸って…

いやあ
なるほど！

本当に
繭子さんは
お美しい…

明るい所では
なお
お美しさが
映えますな。

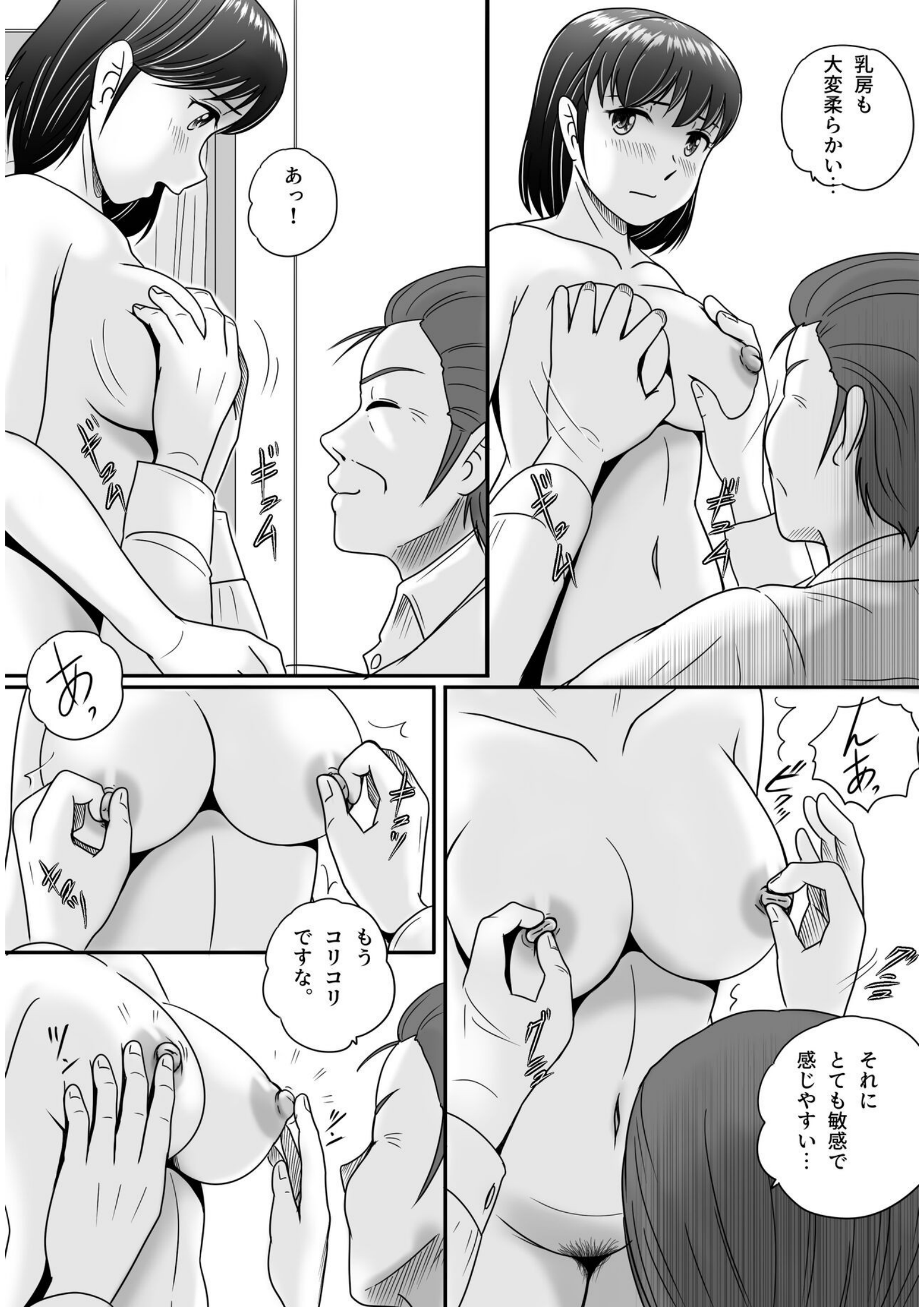
モワッ

ムチッ

出来れば
もう少し
よく見たいので

手を
どかして
頂けませんか？

ほう…
まったく
繭子さんは、
清楚な見た目と違い
いやらしい…
いや
失礼！
肉感的で
魅力的な
お体をしておられる
それに
肌もシルク
の様だ…


乳房も大変柔らかい…
あっ！
ギュム
ギュム
ギュム
ギュム
あっ
ギュム
もうコリコリですな。
ツン
ツン
んあっ
ビッ
それにとても敏感で感じやすい…

レロッ
ん
んん
チュウ
あぁっ
ジュル
ジュル
んんっ
レロレロ
すみません。私は女性の乳首が好きで
つい夢中になってしまいます。

！
グッ
み、峯原さん！
あ、あの…
そういうのは…
これは失礼！そうですよね。
唇は旦那様のモノですよね。
では私も失礼して服を脱ぎます。
繭子さんはソファにどうぞ。

んんっ
レロレロ
キュッ
キュッ
ひょっとしたら準備の必要は無いかもしれませんが
グッ
トロッ
あっ
それではこちらの準備もいたしましょう。

あぁ
んん
あぁ
あぁ

あっ
あっ
んっ
んん
なんか
出ちゃいそう！
んあっ

あぁ
いやっ
こりゃ凄いですねえ！
いやぁ蘭子さん。
あっあっ
はぁ
はぁ

繭子さん、いかがでしたかな
トロッ
随分と派手に達した様ですが。
こ、こんなのは初めてですので…
そうですか！
はめ
はめ
私のを見て下さい。
峯原さんのペニス…
やっぱり凄い…
！
もうこんなですよ。
触ってみますか？
ビッ

この前より大きくて硬い気が…
飲んだ精力剤のおかげですかな？
いつもより元気なようです。
この前みたいにしゃぶってみますか？

どうぞ。
存分に
味わって下さい。
レロッ

相変わらず
お上手だ。
クチュ
シク
シク
シク
ジポ
ジポ
一度くらいは
お口に出したい
ところですが…
繭子さん
そろそろ
入れましょうか？
は、
はい…
また
峯原さんのを
…

ううっ…
そのまま腰をゆっくり下ろして下さい。
そうそう、そのままですよ。
トロトロ
ジュプ

んん
んぬ
ズリズブブ
あぁっ
藺子さん、
あっ
今度はすんなり入りましたね。
ああっ
ズブブッ
だいぶ私のイチモツに馴染んだようです。

やっ
やっぱり
峯原さんの凄い！

お腹が
押される！

繭子さん
ご自分で
動いてみますか？

えっ！

繭子さんが
気持ちいい様に
動いて下さって
結構ですよ。

わ、私が
ですか…

あ
あっ
良い調子ですよ。気持ちいいです。
んん
んあ
あぁ
ああんあっ

あ
あっ
あ
あ
き
気持ちいい！
腰…
止まらない！
み
峯原さん！
あ
あ

どれ…私も下からお手伝いしましょう。
いかがですかな？
だ、だめ！いきそう！
ん、
んんっ
ああ
ゾクッゾクッ

み、峯原さん…
はあ
はあ
すみません、先にいってしまいました。
はあ
はあ
大丈夫ですよ。繭子さん。
ちょっと疲れたでしょうから次は私が上になります。
はあ
はあ
は、はい。
お願いします。
はあ
はあ

どうですか
繭子さん。
ぞわ
ぞわ
私のイチモツなら
旦那様より
ずっと奥まで
たどりつきます。
今回こそ
上手く
いきますよ。
それでは
参ります。
クチュ
ズブブッ
んんっ！

ほら
繭子さん
ご覧なさい。
キュッ
私のイチモツを
貴方のがしっかり
咥え込んでますよ。
す
凄い…！
ビクッ
ビクッ
あんな
大きいのが
私の中に…

あっ
あぁっ
奥に当たって…！
しかし繭子さんの具合は最高ですねえ！
気持ちいいい！
ズン
ズン
パン
パン
あっ
んあ
今回もあまり持ちそうにありませんよ。
パン
パン
パン
んんっ

み
峯原さん！
あっ
あっ
き
気持ちいいです！
気持ちいいです！
繭子さん
私も気持ち
良いですよ！
あっ
だめぇ

峯原さん！
峯原さん！
私、
またいきます！
またいきます！
あっ
あっ
私も
いきますよ！
良いですか？
しっかり
お受け取り
下さい！
あぁ
あぁ

ああ
いくっ
いくっ
ビュルル
ビュルル
ビュルル
ビュルル

あっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
あっ
ドクドクッ
ビクッ
いやあ、繭子さん相変わらず凄い締め付けですね。
もう少し持つと思ったのですが私もいってしまいました。
はぁ
はぁ
今日はまだまだいけますよ。
次は寝室でいたしましょう。
はぁ
はぁ

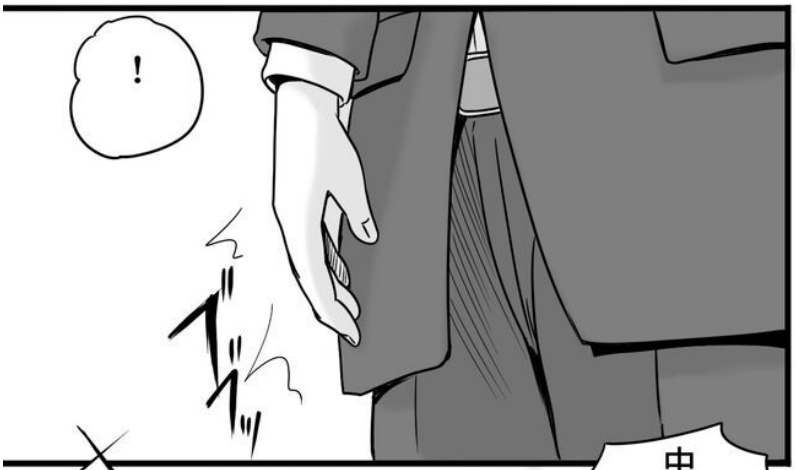
仕込みが出ないように繋がったまま参りましょう。
えっ
ちょ ちょっと！
しっかりおつかまり下さい。
グッ
ひゃっ！
み、峯原さん！
ひょい

繭子さん、こういう体位は駅弁スタイルと言うそうですよ。
え、駅弁？ですか…
駅弁の売り子さんに様子が似ているからだとか…
それでは寝室に参りましょう。
どちらですか？
ここを出て左の部屋です…

16 東京 21
23 東京 21
46 東京 21
ひかり234 12:17 新大阪 23
のぞみ17 12:21 博多 24
こだま19 12:30 名古屋 23

駅弁でも買って車内で食べるか…

まだ時間あるな…
名古屋・新大阪方面
ひかり234 12:17 新大阪 23
のぞみ17 12:2 24
こだま19 12:3 23


！

先方に急用ができた。
中止ですか？

はい、柏木です。
信人か？出張は中止だ。

今日は帰社せずに直帰して良いぞ。

は、はい。

たまには早く帰って繭子を安心させてやれ。では！

お義父さん…なんだかんだ言っても僕らの事気にかけてくれてる。

色々あってもやっぱり父親って事か

せっかく出てきたんだから

繭子さんの好きなモンブランでも買って帰ろうかな…

あっ

あぁ

あっ
あっ
ギシ
ギシ
はっ
はっ

パン
はっ
はっ
！
ズン
ズン
ズン
パン
信人さん…
ズン
ぬぬ
ぬぬ
ふうん
藺子さん、
やはり
旦那様の事が
気になりますか？
パン
パン

今日はすでに一度仕込んでいます。

なんならこの辺で辞めておきますか？

っ、続けてください。

なんですか？

続けてください！

承知しました。それでは

頑張らせて頂きます！

ぐィッ

あっ

あんあ
み
峯原さん!
あ
あっ
激しいです!
ひあっ

峯原さんとのセックス…
信人さんと全然違う！
あっ
あっ
あ
あ

！
んあっ
おっぱいや
あそこを弄るのも
信人さんと
全然違う！
でも
何より…

峯原さんのペニス！
気持ちいい！
気持ちいい！
あっ
イクッ

だから
もっと欲しい！

峯原さんの精子…
いっぱい下さい…
ムぱっ
ニヤッ
それでは存分に…
繭子さんの子宮に流し込ませて頂きます。

では
気合を入れて
いきたいと思います。
良いですね、
繭子さん！
ググ
んんっ
あぁっ

どうですか？
繭子さん。
旦那様よりも
気持ちいいのでは？
もう私のイチモツに
夢中じゃないですか？
旦那様には悪いですが、
繭子さんのあそこ
すっかり私のイチモツで
上書き
してしまいましたね。
峯原さんの
気持ちいいです！
凄いです！

最近
信人さんとの
セックス
よく無かった…
あ！
乳首ダメっ！
あれは
気のせいじゃ
無かった…
あっ
あん
私のカラダ
変わっちゃった！
私、峯原さんに
変えられ
ちゃったんだ！

さあ繭子さん一緒に気持ちよくなりましょう。
はい、峯原さん…
んぐっ
ジュル
私、セックスがこんなに気持ちいいなんて知らなかった！
セックスは子作りにため！そう思ってた！
あっ
あっ
バチュ
バチュ
バチュ
でも違った！峯原さんとのセックスはそれだけじゃない！

蘭子さん、そろそろいきますよ！

だから…

は、はい！お願いします！

峯原さんの精子いっぱい下さい！

私、孕みます！私、峯原さんの子

孕みますから！

あっ

あっ

んんっ

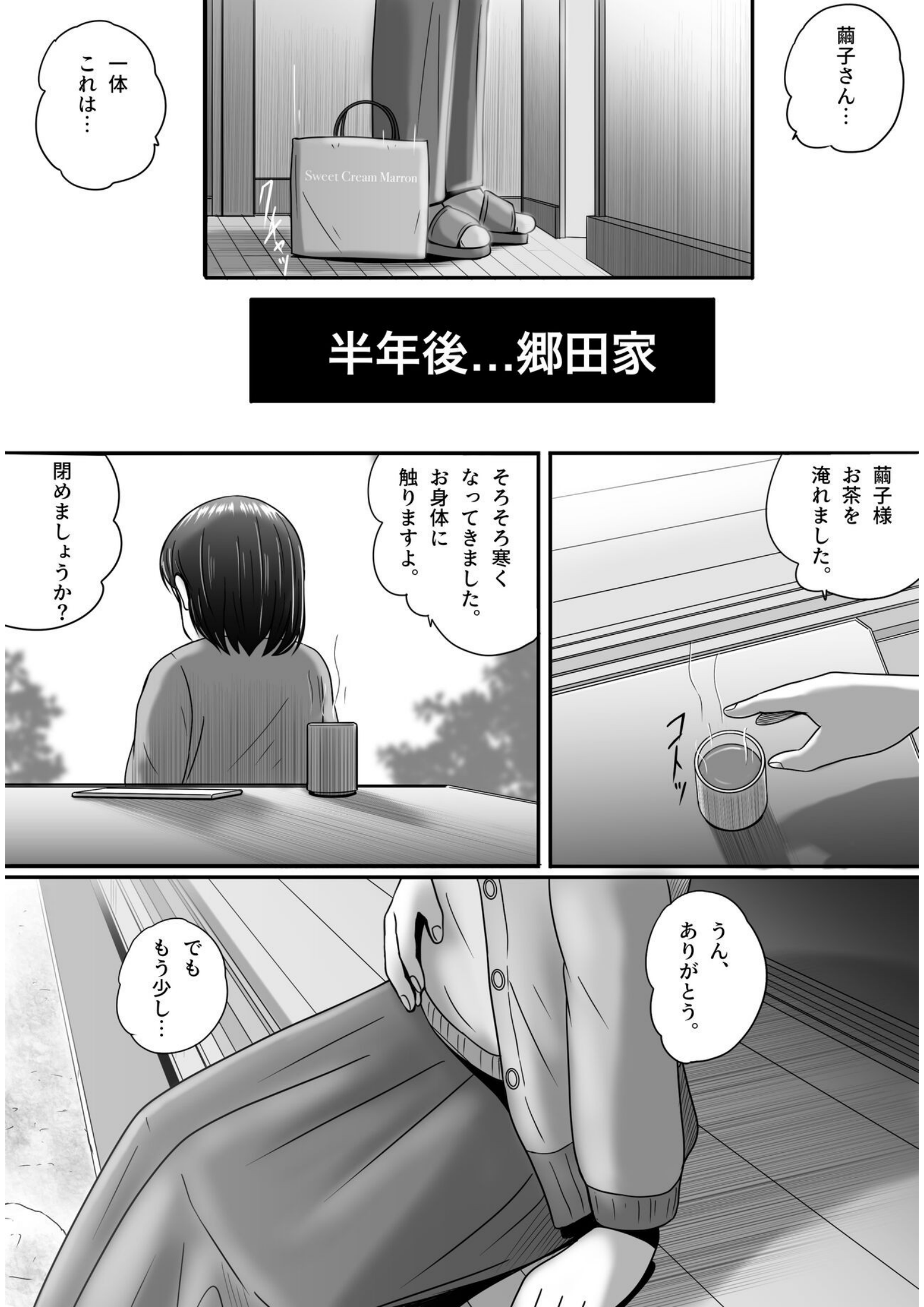
!
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ

ああっ
ドプッ
ドプッ
峯原さんの精子！私の中にいっぱい！
ドプッ
ドプ
でももっと欲しい…

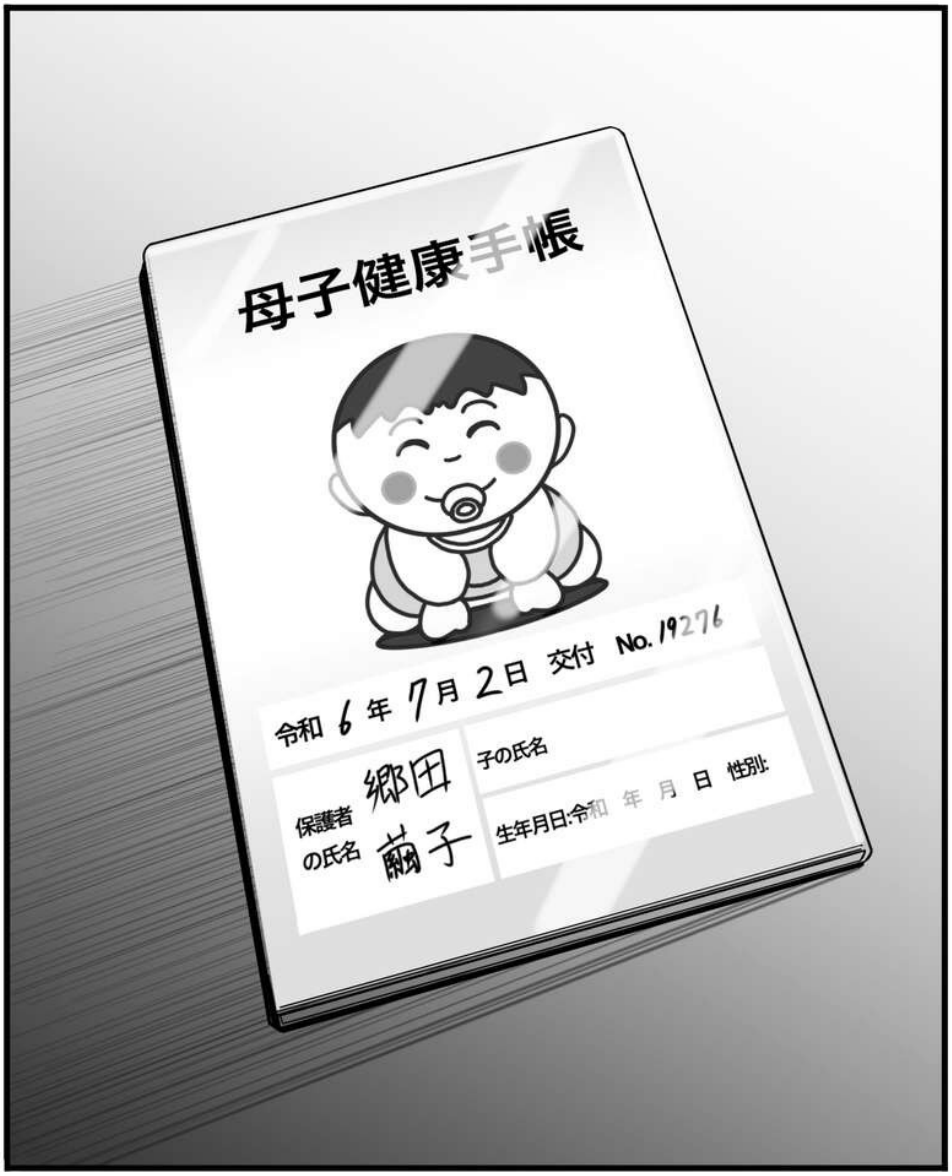
あぁっ
はぁ
はぁ
繭子さんのあそこ、本当に具合が良い。二回目なのに凄い出ました。
溢れ出してきましたよ。
ゴポッ
これはもったいない。
み、峯原さん…
はっ
はっ
もう一回…
お願いできますか？
はっ
はっ
ガチャッ

繭子さん ただいま！
あれ！お義父さん来てるのか？
モンブラン三つ買えばよかったな…
繭子さん寝室に居るの？調子悪いのかな？
ガチャ
繭子さん…
大丈夫？

！
繭子さん！
信人さん！


繭子さん…
一体これは…
Sweet Cream Marron
半年後…郷田家
繭子様お茶を淹れました。
そろそろ寒くなってきました。お身体に触りますよ。
閉めましょうか？
うん、ありがとう。
でももう少し…

このままで…



おしまい

お買い上げ頂きましてありがとうございました。